

PAT-NO: JP410129412A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10129412 A

TITLE: SEAT BELT MOUNTING STRUCTURE OF SEAT FOR VEHICLE

PUBN-DATE: May 19, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

IKEDA, TETSUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TACHI S CO LTD

N/A

APPL-NO: JP08304138

APPL-DATE: October 31, 1996

INT-CL (IPC): B60R022/26

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make a seat belt easily penetrated through a belt hole of a seat cushion, and accommodate a buckle when it is not used, by uniformly forming an inner diameter of the belt hole in the vertical direction, and installing a shielding material for preventing the drop of the buckle, on an opening edge, at a bottom face side of the seat cushion, of the belt hole.

SOLUTION: A belt hole A penetrating through a seat cushion SC in a vertical direction, is opened, a buckle 2 to be connected with a tag at a point thereof, is integrally-connected with the hole A, and a belt 3 of which a basic end is fixed to a vehicle floor F by a belt 3A, is penetrated through the hole. An inner diameter in a vertical direction of the hole A is uniform, and is almost same as or slightly smaller than an outer diameter of the buckle 2, and a shielding material 1 is installed on an opening edge at a bottom part side, so that the buckle 2 can be surely accommodated and held without dropped to a lower space of the seat cushion SC from the hole A. Further the opening of the belt hole is wide, so that the seat belt with the buckle can be easily mounted, and the operatability can be improved.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-129412

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月19日

(51) Int. Cl.⁵

B 6 0 R 22/26

識別記号

F I

B 6 0 R 22/26

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-304138

(22) 出願日 平成8年(1996)10月31日

(71) 出願人 000133098

株式会社タチエス

東京都昭島市松原町3丁目2番12号

(72) 発明者 池田 哲生

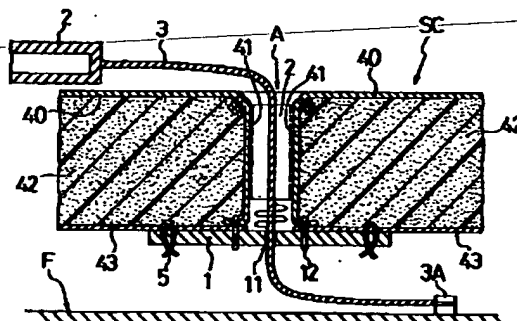
東京都昭島市松原町3丁目2番12号 株式会社タチエス内

(54) 【発明の名称】 車両用シートのシートベルト取付構造

(57) 【要約】

【目的】 シートベルトのバックルが格納されると共にバックルが簡単に貫通できるベルト通孔を有する車両用シートを提供することである。

【構成】 ベルト通孔 (A) の上下方向の内径を略同一にして、ベルト通孔 (A) の底部側に、遮蔽材 (1) を設けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シートクッションの上下方向に、シートベルトのバックルが貫通するベルト通孔を有する車両用シートにおいて、前記ベルト通孔はその内径を上下方向に同一に形成すると共に、ベルト通孔におけるシートクッションの底面側の口縁にバックル落下防止用の遮蔽材を設けてなることを特徴とする車両用シートのシートベルト取付構造。

【請求項2】 前記ベルト通孔の内径は、バックルの外径と略同一又はやや小径に形成したベルト通孔をバックル格納部としてなる請求項1記載の車両用シートにおけるシートベルト取付構造。

【請求項3】 前記遮蔽材は弾性プレートで、シートクッションの底部に一体に結着され、ウェビング挿通スリットを有する請求項1記載の車両用シートのシートベルト取付構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は自動車用シートなどの車両用シートに備えるシートベルトの取付構造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の自動車用シート、例えばリヤシートには、シートクッションの上下方向にシートベルトを貫通するベルト通孔を開孔して、このベルト通孔にバックルを一体に有するシートベルトを貫通させたものがある。そして、このベルト通孔はシートクッションの着座面に設けた開口を狭くすることにより、或いは、ベルト通孔に開口を狭くしたホルダーを装着することにより（例えば実開平2-34370号公報）、ベルト通孔の内部を遮蔽して外観品質を向上している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】以上のベルト通孔は開口が狭いために、シートベルトのバックルを貫通する際の作業性が悪いし、また、ベルト通孔内にバックルを格納できないなどの不具合がある。

【0004】特に、シートバックをシートクッション上に重ねるように前倒した際、或いは、シートクッション上に荷物を載せた際、シートベルトのバックルがシートクッション上に障害物になるため、バックルが邪魔になる欠陥があった。

【0005】そこで、本発明は、シートベルトをシートクッションのベルト通孔に貫通し易く、しかも、不使用時のバックルを格納できるようにすることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】以上の目的を達成するための本発明は、シートクッションの上下方向に、シートベルトのバックルが貫通するベルト通孔を有する車両用シートにおいて、前記ベルト通孔はその内径が上下方向

に同一に形成すると共に、ベルト通孔におけるシートクッションの底面側の口縁にバックル落下防止用の遮蔽材を設けてなることを特徴とするものである。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の実施の一形態を図面に基いて説明する。図示する車両用シートは自動車用リヤシートを示し、このリヤシートはシートバック（SB）が図2に示すようにシートクッション（SC）上に重ね合わせられるように前倒した後、シートクッション（SC）が前部側を回転中心に後部側が跳上ることができるよう構成されている。

【0008】このシートクッション（SC）に上下方向に貫通するベルト通孔（A）が開孔され、このベルト通孔（A）より、図1に示すように、基端を車床（F）にベルト（3A）によって固定されているベルト（3）が貫通されている。このベルト（3）の先端にはタグ（2A）に結着するバックル（2）が一体に連結されている。

【0009】ベルト通孔（A）は図3に示すように上下方向の内径（W）が同一に形成され、底面側の口縁には遮蔽材（1）が取付けられており、ベルト通孔（A）からシートクッション（SC）の下方の視界が遮蔽されている。

【0010】ベルト通孔（A）の内径は、バックル（2）の外径と略同一又はやや小径に形成され、ベルト通孔（A）内にバックル（2）が図1鎖線に示すように格納できるバックル格納部を形成している。

【0011】ベルト通孔（A）の内壁を形成する内壁材（41）（41）はシートクッション（SC）の表皮材（40）と一体に縫着され、また、内壁材（41）は図4に示すように遮蔽材（1）に縫糸（12）により一体に縫着されている。図中（42）はシートクッション（SC）の発泡体製パッド、（43）はパッド（42）と一体の裏基布を夫々示す。

【0012】遮蔽材（1）は表皮（40）と同一部材で形成され、図4に示すものはウレタンフォームのスラブ材製ワディングなどの弾性プレート（10B）と、織物地（10C）、不織布などからなるワディングカバー（10A）からなる積層体で、複数のホッグリング（5）…で、裏基布（42）に結着され、中央にバックル（2）、ベルト（3）を挿通するスリット（11）が開孔されている。

【0013】この遮蔽材（1）はベルト通孔（A）内にバックル（2）を格納した状態で、バックル（2）がシートクッション（SC）の下方に落下しない程度の剛性を有するものを使用している。

【0014】斯して、バックル（2）をシートクッション（SC）上に取付けるには、バックル（2）を遮蔽材（1）のスリット（11）からベルト通孔（A）を通すことにより簡単に行うことができる。

3

【0015】そして、バックル(2)の非使用状態において、バックル(2)をベルト通孔(A)内に格納すると、シートバック(SB)をシートクッション(SC)上に前倒した際、或いは、シートクッション(SC)上に荷物を載せた際、バックル(2)が障害物となることがない。

【0016】ベルト通孔(A)に格納したバックル(2)は遮蔽材(1)によりシートクッション(SC)の下方空間部に落下することなく確実に保持される。

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、バックルが非使用状態において、ベルト通孔内に格納され、遮蔽材によってその格納状態が保持され、バックルが非使用状態において障害物になることがない。

【0018】また、ベルト通孔の開口が広いため、バックルが格納し易いし、シートクッションにバックル付のシートベルトを簡単に取付けることができ、その作業性を向上し得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】図2のI-I線断面図である。

【図2】本発明構造を有する自動車用シートの斜視図である。

【図3】シートベルトを通す前の状態の断面図である。

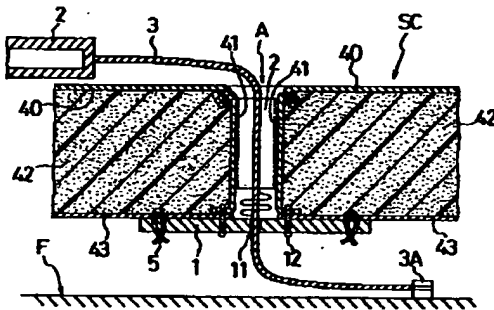
【図4】シートベルトを通す前の状態の底面図である。

10

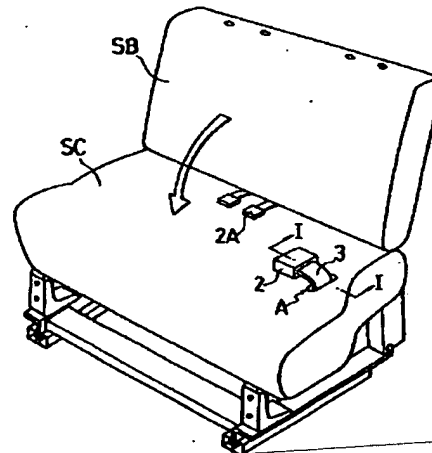
【符号の説明】

SC	シートクッション
A	ベルト通孔
1	遮蔽材
2	シートベルトのバックル

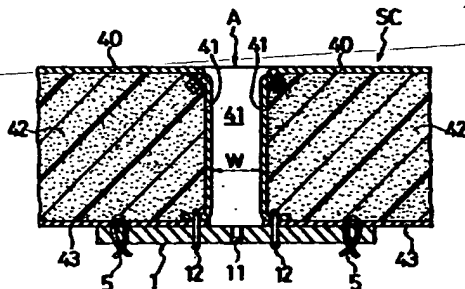
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

